

# こども園における自己評価

八尾市立安中ひかりこども園

4:十分達成している 3:ほぼ達成している 2:検討を要する 1:改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標について	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	・前年度の反省を踏まえて見直しをし、今年度の子どもの実態に応じての目標を立て、全職員で共通理解をしている。
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	・指導計画については、子どもの実態に応じて立案し、月案は担任だけでなく主幹保育教諭とともにその都度ねらいに即して検討作成し、子どもの成長に繋がる指導計画になるようにした。 ・子どもの興味関心を見取った環境や姿に応じた支援、援助を工夫することで遊びの幅が広がり、豊かな経験をすることができるようにした。
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ（ディリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4		

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	<p>・栽培、収穫した野菜を食する機会をつくったり、野菜の皮むきをしたりすることで食材に触れる機会をつくり、食に興味関心をもてるようにしている。そのことで、食欲の増加に繋がっていた。</p> <p>・毎月調理員、栄養士、看護師、保育教諭でアレルギー会議を行い、個別の対応を丁寧に確認を行っている。</p> <p>・保健指導、避難訓練、交通安全指導については色々な状況を想定して計画を立て、計画に沿って実施し、子どもたちの意識を高める取り組みを行っている。</p>
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等）を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	4	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	4	
職員 の 資 質 向 上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	<p>・研修会については、職員の希望を聞きながら体制を調整して参加できるようにし、参加した職員が報告する機会を設けて、園全体で学んだことを共有できるようにしている。</p>
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	4	
職員 運 営 管 理 に つ い て	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	<p>・定期的に会議や打ち合わせを行う中で、それぞれの役割からの報告や反省を出し合い、職員間で情報共有したり課題解決に向けて話し合ったりしている。</p>
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	4	
	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守 秘 義 務 の 遵 守	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	4	<p>・個人情報の取り扱いについて、保管場所を整理して管理しやすくし、日頃より全職員で意識して取り組み、適切に対応している。</p>
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目	内容	評価	備考欄	
開かれたこども園づくり	施設・地域との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	・コーディネーターが窓口となって近隣の小中学校や施設との交流や行事の参加について、コーディネーターが窓口となって計画を立てて進め、お互いの豊かな経験に繋げている。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるように工夫しているか。	4	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	4	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	・就園前の親子対象のひろばや園庭開放では親子が楽しんで参加できるような工夫をしたり、意識して育児相談を受けたり子育て支援事業に積極的に取り組んでいる。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	4	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	4	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	4	
	情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	4	・園運営について、保護者には定期的におたよりを発行したり、市民にはホームページで発信したりして理解してもらうよう努めている。
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立てているか	4	
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	4	・保護者アンケートを実施したり、第三者委員の意見を反映し、園運営に活かしている。
・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか		4		
施設・設備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	・毎月敷地内の安全点検を実施し、子どもや職員が安全に過ごせるようにしている ・火災や地震、不審者対応の避難訓練の年間計画を立てて訓練を行うことで、災害時に備えて園全体で避難の仕方を身につくようにしている。 ・保護者に掲示物が見えやすく伝わりやすいよう、書き方や掲示の仕方を工夫している。	
	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4		
	・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4		
	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4		
経理出納	・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4	・マニュアルにのっとり、適切に処理を行っている。	

#### 成果

○今年度の研究テーマを『かけがえのない一人ひとりを大切に～誰もが輝く環境とは～』として、子どものありのままの姿を受けとめるために、思いやりある見取りや保育者の言葉がけ・かかわりへの意識を高めることを心がけた。また、子どもが“自らかかわりたくなるような環境”に焦点をあてながら主体性を育む環境づくりに全職員で取り組んだことで職員の子どもの理解しようとする向上心が上がり、子どもたちの遊びに向かう意欲、子ども同士のかかわり、探求心へと繋がった。

○職員の人権意識を高めるため、人権擁護のチェックシートを活用して振り返りを行い、研修報告会を実施して「不適切保育」への理解を深め、保育教諭自身の保育を見直したり支え合う職員集団となるよう同僚性の大切さを学んだりしたことで、子どもの内面理解とかかわり方、言葉がけの変化が見られてきた。

○近隣の施設や小中学校との交流後、刺激を受けた子どもたちの遊びの幅が広がり、様々な人とかかわりが豊かな経験に繋がっているのを感じた。

○前年度、保護者アンケートより安全管理の課題の指摘を受け、全職員で門の施錠の徹底など危機管理の意識を高める取り組みを行なったことで、今年度のアンケートでは改善されたことがわかる結果だった。

#### 課題

○保護者アンケートより、今年度もクラス懇談会の内容に課題があり、去年度から改善されていないことがわかった。保護者が有意義に感じる内容へ工夫をしていく必要がある。

○保育者の自己評価より、研究で取り組んだ内容を保護者や地域へ発信できていないと感じている職員が多い。発信できていない理由を探り、発信しやすい方法を検討して伝え、園の取り組みの理解に繋げていく。

#### 改善策

○保護者に問うなどして懇談会の内容を見直し、伝達事項の共有のみでなく保護者のニーズに合った内容を組み入れて保護者が有意義な時間となり、次回を期待する懇談会になるよう改善をしていく。

○研究で取り組んだことを、保育の中で活かすことで見えてきた子どもの変容や楽しんでいる姿を保護者や地域の人に知らせ、園運営の理解に繋げるようにしていく。